

# 一般会計補正予算(第5号)

一般会計補正予算審査特別委員会報告 委員長 南雲和夫

歳入歳出にそれぞれ**2億1,479万3,000円**を追加し、  
総額を**70億9,787万3,000円**とする

## 歳入の内訳

- 町民税460万円・入湯税700万円の各滞納分を計上。
- 大規模発電用施設立地地域振興補助金2,976万3,000円の交付。
- 魚野川床固工群用地として、国土交通省に8,015万4,000円相当額を売却。
- 財政調整基金から9,133万9,000円を繰り入れ。残高見込みは12億2,457万円。

## 歳出の内訳(主なもの)

- アメリカ合衆国ユタ州マグナから今年3月頃来訪したいという話があるので、歓迎費用として42万円。  
(まだ来訪は確定ではない)
- 町税のコンビニ収納を可能にするためのコンピュータシステムの変更経費として、1,638万円。
- 土樽保育園駐車場用地(借地部分)の買収費として470万円。
- 共同浴場の震災被災者・ボランティアなどを無料にした事による減収分として、400万円を都市施設公社に補助。
- 風評対策関連経費として、観光立町宣伝事業の中止による減額分1,773万6,000円に906万円を追加
- 観光事業会計(ロープウェー事業所)補助金の追加として1億7,400万円。
- 船沢橋改良に伴う仮設道路建設費として1,000万円。
- フリースタイルFISワールドカップ苗場大会補助金300万円。

## 賛成討論

池田 宏

一般会計補正予算に対して、意見を付けて賛成を致します。

かつて一般会計の財政が豊かであった頃は、観光ロープウェー事業も我が町の優越した企業でありました。時代が変遷する中で、経営の努力は続けられてきたとは言え、平成2年に9億円あった保留金は順次取り崩され、以後、一般会計からの借り入れおよび補助金の注入なしには経営できない状況になっています。現在までの補助金総額は24億円にも達しようとしているにもかかわらず、経営の改善が見られないことはまことに残念であります。今後補助金の繰り入れが止まらないのであれば、ロープウェー企業が町をつぶすと言っても過言ではありません。

また国体返上論も出ていますが、議会で議決され関係諸団体が周知をしている国体を、財政難だからといって返上できるのでしょうか。

厳しい状況ではありますが、赤字団体への転落を食い止めるよう、行財政改革および事務事業見直しが着実に実行されることを期待して、賛成討論いたします。